

1 市長キャラバン意見一覧（R01.05.19）

本日のテーマ 美南小の今後の児童増加予想とそれによる学区の考え方

校庭の利用の仕方について

吉川中学校について

通学路について

学童保育室について

【各担当から説明】

学校教育課 児童数の現状と今後

H31年度新入生236人含め1176人 38教室使用してスタート

今後はH31.4.1現在の住基データより、増加が続くと予測。

ピークはR6年度 1455人44教室との見込。

来年度入学児童から、美南小学校区にお住まいの方が隣接する中曽根小への通学が可能となるよう、学区区域の規則の整備を進めている。

学校教育課 選択までのスケジュール

9月上旬に指定校通知、（中曽根か美南を選択できる）、2週間考える期間あり。

来年の春から実施予定。兄弟がいる場合は、相談によっては便宜を図る。

美南小に通っている途中で中曽根小に転校する場合、向こうがいいというパターンはいないだろう。相談していただければ、便宜を図っていく。

教育総務課 校庭について

2点ある。

① 今後の整備について

プレハブ校舎、遊具ゾーンがあり今後の行事があるが安全性を確保しなければならない。教育委員会と学校で話を続け、職員会議でいろいろと話をしていただいた結果、すべりだいとブランコを美南中央公園への移設を検討中。遊具を寄せて、校庭の有効活用を図ろうと考えている。自治会の話も広く伺いながら、今後更に検討を重ねていきたい。

② 中庭について

遊び場の確保も重要。中庭にある柱にクッション性のあるものを整えて、休み時間に遊べるような利活用をしていきたい。いろいろと話し合いを重ねながら検討してまいりたい。

道路公園課 通学路の安全について

本市では、交通安全対策としてゾーン30を採用している。平成30年度に美南小学校周辺に対しゾーン30実施している。ゾーン30にあわせて美南小西側正門付近、南側学童付近に狭窄（きょうさく）設置した。本年度は、吉川中周辺地区に対してゾーン30を実施。来年度は、美南地区北側東側に実施する予定。

・滋賀県大津市の事故を受けての対応

主要な交差点の実地点検を実施している。結果に基づき、危険個所について警察と協議を行い安全対策施設の設置を検討していく。

・美南小周辺の市の対策

吉川美南駅西口交差点、美南小北側小学校入口交差点に横断歩道の利用を阻害しない範囲で車止めポールの設置を検討している。

【参加者からのご意見】

問 美南駅前交差点について

・鉄杭が3～5本必要である。

・左折信号が赤になってから1.5秒ほどで歩行者用信号機が青に変わる。

子供たちは青になるとすぐに渡りだしてしまうので危険である。左折信号が赤になってから歩行者用信号が青に変わる時間を3秒くらいに延ばすことはできないか。

・歩行者用信号の青の時間が短いため、渡り切れない子供がいる。

答 信号機の青の時間は少し延ばしている。

左折信号の赤から歩行者用信号が青に切り替わる時間の余裕を持たせることは検討する。ポールが5か所になるか3か所になるかは現場を見ながら考えていく。

問

- ・美南小から中曽根小へ変更した場合の通学班編成は従来通りなのか。
- ・どれくらい的人数が中曽根小へ変更するか予測はできているのか。

答 中曽根小学校へ変更を希望している人がどれくらいいるか予測がつかない。通学班については基本的に送り迎えをしていただくことが前提となっている。

問 学校が従来通学班を組む中に当てはまらないのか。

答 美南小学区から中曽根小学区まで行くのであれば通学班まで安全に送ることが前提となる。

(変更を考えている理由はどのようなことか)

問 美南小は児童数が多くいる。たくさん運動させてあげたい。美南小は曜日によってグラウンドに出られる日と出られない日があると聞いた。

答 通学のセオリーは話した通りであるが、ご意見をいただければ検討する。

(校庭に出られる時間と出られない時間があるのか)

問 学校で時間と曜日で遊べる時間が分かれていると聞いた。

答 来年度新入生から中曽根小学校を選べる形にする。その子に兄・姉がいる場合は兄・姉も中曽根小学校へ変更することができる。

近所でそういった家庭があれば通学班を編成し、高学年の子が連れていくことは考えられる。実際に希望をされた方的人数や住所から検討する。

問 美南小周辺にある自転車専用ナビレーンが広い範囲であるとよいと思う。

歩道を自転車で走る、歩道・車道を逆走している方を美南地区で見かけることがある。ナビレーンがあることによって走る場所を認識し、街全体で子供に教えることができる。

子供たちも交通ルールの認識ができ、事故も減るのではないか。ゾーン30と併せて考えてもらいたい。

答 すべての道路に設けることは難しいが、主要な幹線道路や幅員の取れる道路に対して今後検討する。

問 学童保育の定員について伺いたい。

答 美南小学校の児童数の増加状況によっては、学童の教室数も令和3年度から不足が生じる可能性があるから見込んでいる。これまでも学童については待機を出さない方針で取り組んでいる。

現在は、小学校内に4クラス・外に2クラスあるが、美南小学校の児童数増加に伴い学校の外に1クラス今年度建設を予定している。今後も待機児童を出さないように取り組む。

問 ステーションコートの登校班は朝120人くらいがロビーに集まり、時差で対応している。ロビーに集まるのは学校の指示らしい。200人になったらロビーに収まらないため外の招集を認めたほうが保護者の負担が軽くなる。

答 要望として預かり、学校へ伝える。

問 学童の子が校庭で遊んでいると、学童でないこと一緒に遊ぶなど切り分けられる。

答 想像の話になるが、学童に通っている子の事故との関係で話が出たのではないか。実際には学童が遊んでいるからといって校庭を使えないわけではないと思う。状況の確認をする。

問 付け足しする。学童の先生が校庭で遊ばせるときに近所の子供と遊んで事故やケガが起きた場合の責任が学童の先生になる可能性があるので一緒に遊ばないように先生が指導していると聞いたことがある。

答 状況を聞いてみる。

問 美南小のマンモス化について対応を心配していた。中曽根小を選択する対応を聞き安心している。来年度新入生となる子を持つ親であるが、このような話は聞いていなかった。運動会のお知らせも美南小から届いている状況でこの後、来年度入学までの間にどのように選択する時期が来て、クラス編成が進んでいくのか伺いたい。

答 規則改正を6月の教育委員会で諮る。9月に現住所から指定校通知を発送

後、調整選択の受付を開始する。その後入学通知の発送となる。また、運動会の案内については学校へ問い合わせしてほしい。

問 希望者が多い場合は抽選となるのか。

答 抽選となるが、過去に抽選を行った例はない。

中曽根小の児童数も増えている。令和7年ごろには100人くらい増える予想である。しかしまだ教室数に余裕があるので抽選はないと見込んでいる。

(校庭の面積が狭いから中曽根小への変更を考えているのか。)

問 空間的な部分は子供の成長に影響すると思っている。少しでも空間に余裕がある学校へと考えている。

問 中曽根小への変更を考えている。通学班編成はいつごろか。

答 一部の地域に集中していれば通学班が組めるが、希望者の地域がバラバラであると難しい。いま話を聞くとかなりの方が中曽根小を希望しているようである。その方々の兄・姉も中曽根小となれば美南地区の拠点を決めておいてそこに集まってもらい、そこから通学班で登校することはあり得るのではないか。最終的な決定の時期は4月近くになってしまう。

規則の改正案は新入生で中曽根小学校を希望する子と、その兄姉が対象となる。(対象でない子が途中で中曽根小へ行く場合はどのようなになるのか。)

よほどの理由がないと変更は厳しい。規則が変わってもできない。

今美南小にいて、4年生で中曽根小へ転校することは考えづらいので想定しなくてもよいと思う。この中で途中でも中曽根小に行きたいから変更してくれという意見があれば承って作戦を考える。

(参加者のなかには希望者なし)

問

- ・美南小と中曽根小の学童の受け入れる基準が違うと聞いている。
- ・中曽根小の近くに住んでおり、すでに中曽根小入学で動いている。

自治会の運動会では子供が中曽根小学校に行った場合でも地域としては美南小の運動会に参加するようになる。友人がいることで中曽根自治会の運動会に参加したい場合は自治会同士で調整してもらえるのか。

・規則改正のことを周知してよいのか。

答 学童の受け入れ基準は市内同じ条件で選考している。

規則改正のことはどんどんお話をしていただきたい。

(自治会の運動会については自治会長がいるので聞いてみる。)

自治会の運動会は任意であり、行きたいところに行ってください。役員になっている場合は自治会長に相談してほしい。

問 中曽根小へ通わせたいと思っている。先ほど秋に指定校通知が届くという話だが、そこから中曽根小へ行けると通知するまではどれくらいの期間があるのか。学校を選ぶ情報がないまま選ぶことはできない。可能であれば指定校通知を出す前に中曽根小も選択できる情報を出してほしい。

答 教育委員会に諮るので6月頃には決定する。早い段階で広報等で周知する。指定校通知を発送してから3週間くらいの期間を設けて申請を受付ける。

問 新1年生の休み時間の過ごし方について、当初は外遊びができず絵をかいて過ごしていた。滑り台・ブランコを移設しても運動場のキャパシティがなく深刻である。令和6年のピークを考えると、もう少し子供たちのために対応策を考えてほしい。

答 滑り台・ブランコであれば小学校で使わないのではないかと思い、移設して校庭の面積を確保したい。できる限り子供たちは体を動かして生活できるようにしていきたい。

問 雪合戦が禁止されていると聞いているが。

答 栄小も雪合戦が禁止されていた。理由は校庭がぐちゃぐちゃになるから。危ないというよりは校庭の管理であった。

問 保護者へのお願い。分署近くの信号で朝の通学班の見守りを数年間行っている。10分から15分の間がピークである。当番の旗振り日以外でも見守りをお願いしたい。美南はGB会(ジジババ会)を作っている。美南全体で学校近くの信号で見守りを行っている。

答 子供の数が多いので、一人でも多くの大人の目線で守っていただきたい。

問 年長の子供がいる。6年後も同じ状況で弾力的運用地域の子は優先して吉川中学校へ入学できるのか。

小学校を選択するにあたって情報が少ない。指定校通知が届く前に学校の情報を知らないといけない。スケジュールとして学校公開に間に合うのか。

答 早い段階で判断材料を提供していきたい。

南中学校の現1・2年生が吉川中に移ったと仮定して、来年度の吉川中学校の生徒数は619人である。令和7年度にクラス数が満杯になる。その頃に従来の学区で区切りをしなければいけない状況となる。その前には弾力的運用の見直しを行う。

問 弾力的運用地域の子が吉川中学校へ行けないというのはいつの時点で知らせてもらえるのか。

答 2～3年先までは予測できるので、何年も前からお知らせする。

問 新しい中学校の部活動はどのようなになるのか。

答 現時点では何とも言えない状況である。人数が少なくなった場合は、開校1年目は合同で大会に出場できる特例もある。今やっている部活動を継続できるようにしたい。吉川中にいくつもの運動部ができるということは想像できない。特に在校生はアンケートを見ると南中に残りたいという意見が多い。

問 部活動を作ってほしいという要望はできるのか。

答 学校判断となる。要望があったことは伝える。これから就学先のアンケートを実施するなかで併せて部活動のアンケートを行うよう調整したい。

問 新しい中学校は文化系を増やしてほしい。

2 市長キャラバン意見一覧（R01.05.23）

本日のテーマ 美南小の今後の児童増加予想とそれによる学区の考え方
校庭の利用の仕方について
吉川中学校について
通学路について
学童保育室について

【各担当から説明】

学校教育課 児童数の現状と今後

H31年度新生徒236人含め1176人 38教室使用してスタート
今後はH31.4.1現在の住基データより、増加が続くと予測。

ピークはR6年度 1455人44教室との見込。

来年度入学児童から、美南小学校区にお住まいの方が隣接する中曽根小への通学が可能となるよう、学区区域の規則の整備を進めている。

《前回市長キャラバンでの意見》

1. 校庭での外遊びが時間と曜日で分けられている。
→週1回、水曜日をロングタイム昼休みとして45分間の休みの時のみ、校庭割り振りを決めている。低、中、高学年としている。通常はしていない。
2. 入学当時は休み時間に外で遊べなかった。外で遊ばせたい。
→全小学校で実施、2週間くらいは校庭の使い方を習得する時期、安全上に配慮している。現在は外遊びしている。
3. 登校班、駅前マンションの集合場所がいっぱいになっている。外で待つことはできないのか？
→特に学校からの指示ではなく。各マンションにお住まいの方たちが自主的に取り組んで運営している。

市長 新校舎含めると、45教室ある。令和6年度にこのままいけば、全児童に教室を提供できる。ただし、マンションのうち、一部86世帯ほど入居がないが、今後その子供たちの数が影響を与える可能性ある。

イオンタウン奥はマンションとなっていたが、マンションを作ることに

ついて、民間と話をしているが理解していただいている。大きく人数が増えるとする、その86世帯にどのくらいの子供が入ってくるか、である。学校区について 中曽根小に行きたいという家庭に対して、行ける措置を取るという方向性を決めた。先日70名参加した時も、中曽根小に行きたいという意見を頂いた。なるべく早い段階で中曽根小を選択できる情報が欲しい、と意見をいただいた。中曽根小を選ぶための情報を伝えていきたい。

学校教育課 選択までのスケジュール

9月上旬に指定校通知、(中曽根か美南を選択できる)、2週間考える期間あり。来年の春から実施予定。兄弟がいる場合は、相談によっては便宜を図る。美南小に通っている途中で中曽根小に転校する場合、向こうがいいというパターンはないだろう。相談していただければ、便宜を図っていく。

【質疑応答】

問 例えば4年生6年生はあり得ないと思う。今年1年生として入った児童の、兄、姉が2年生、3年生でいる場合はあり得ると思うが、いかがか。

答 そちらも含めて検討していく。

中曽根小は17クラス現在使用している、マックス23クラスまであり、余裕ある。子供たちの環境整備ということであれば、いくらでも相談に乗る。

問 中曽根小を選んだ場合の朝の通学は？

答 保護者が責任をもって送迎がベース。中曽根小の通学班まで送りそこから班で行く、もあり。希望が多くなれば美南の中で班を作って、高学年がいれば班を作っていく。今はまだ選択の状況を見てみないと分からないが、子供たちの安全安心を最優先に考えていく。

教育総務課 校庭について

2点ある。

③ 今後の整備について

プレハブ校舎、遊具ゾーンがあり今後の行事があるが安全性を確保しなければならない。教育委員会と学校で話を続け、職員会議でいろいろと話をしていた結果、すべりだいとブランコを美南中央公園への移設を検討中。遊具を寄せて、校庭の有効活用を図ろうと考えている。自治会の話幅広く伺いながら、今後更に検討を重ねていきたい。

④ 中庭について

遊び場の確保も重要。中庭にある柱にクッション性のあるものを整えて、休み時間に遊べるような利活用をしていきたい。いろいろと話し合いを重ねながら検討してまいりたい。

市長 ブランコとすべり台は小学校の校庭になくてもいいのではという意見いただき、職員会議で図っていただいた。雲梯をすべり台の位置に持ってきて空間を作る。校庭の面積を増やして、美南中央公園に移設して子供たちが使えるようにする、という案。前は賛成を頂いたが今回も皆さんの意見を伺いたい。

休み時間がクラスによって規定されている、という意見は事実ではない。水曜日の休み時間が長いので時間差になっている。中庭の安全性を高めることによって子供たちの遊び場に活用する。体育はスムーズに進められているので、休み時間の遊び場確保について進めていく。ほかに案があれば承る。

【質疑応答】

問 前回それを言ったのは私。帰ってから子供にちゃんときいたら、長い休み時間だけだと聞いて、罪悪感、失礼しました。校庭の遊具を移設して、雲梯も移設する、それにより広く使えるということか？

答 はい。

問 中庭は縄跳びなどで利用しているのを見ていたが、実は使えなかった場所なのか？それともさらに安全性を高めるということか？

答 歩き回ったりなど活発な活動ができるような場所となるよう、安全性を高めるために検討している。

問 クッション性のもの、雨や雪などで劣化するのでは？素材などはどのようなものを検討している？

答 これから検討していく。体育館よりもコンディション厳しいと思うのでより良いものを検討していきたい。

問 校庭が狭いのは認識している。移設してどのくらいの効果があるのか不明だが、ブランコ、すべり台の子供たちの利用状況は？

答 学校から聞いている限り、低学年には人気があると聞いている。

問 それを考慮した上で作戦練っていただければ。よろしくお願いしたい。

道路公園課 通学路の安全について

本市では、交通安全対策としてゾーン30を採用している。平成30年度に美南小学校周辺に対しゾーン30実施している。ゾーン30にあわせて美南小西側正門付近、南側学童付近に狭窄（きょうさく）設置した。本年度は、吉川中周辺地区に対してゾーン30を実施。来年度は、美南地区北側東側に実施する予定。

・滋賀県大津市の事故を受けての対応

主要な交差点の実地点検を実施している。結果に基づき、危険個所について警察と協議を行い安全対策施設の設置を検討していく。

・美南小周辺の市の対策

吉川美南駅西口交差点、美南小北側小学校入口交差点に横断歩道の利用を阻害しない範囲で車止めポールの設置を検討している。吉川美南駅西口の交差点について、H31年3月にスクランブル化した但斜め横断を行うための信号表示が短いという声があった。地域の方から同じ声があるため今後警察と協議しながら適正化を図っていく。

・自転車専用レーン

現在の道路幅を活用し主要な幹線道路と拠点をつなぐようなルートを検討し整備していく。

市長 ゾーン30美南地区に増えている。有益性については20%事故が減っているという結果もある。今後も増やしていく。学童のところ、正門のと

ころ狭くして安全性を高めていくようしている。さらに安全性を高めてほしいという意見がある。正門出て左のマンションとアパートの交差点、車止め立てられないか協議している。車止めとはおあしすの交差点にあるナマズがくるくる回るポールのこと。今後もできる限り子供たちの安全を高めたいと思っているが、交通指導員さんに任せることなく保護者も交差点に立ってもらえないかという意見が住民から出てきた。放課後見に行ったが、一人の指導員さんだけで対応していて、子供が遊んでいて危ない。自治会、地域の力で子供たちの安全を守ってほしい。

保育幼稚園課 学童について

美南小の児童数の推移に伴って学童の方を推定している。分室として道路の向こう側に2部屋、こちらに4室の計6室ある。令和3年にはもしかすると不足が生じるようなことも考えられる状況。これまでも市では学童保育は待機を出さない方針にしているので、児童数の推移や申込数を見ながら対応を考えていきたい。

・前回キャラバンで出た質問について

学童の入室について、中曽根小の方が入りやすいのでは？という質問については、市内全域同じルールで学童入室は決定している。

学童の子たちが校庭を使っているとき、地域の子は遊べないのか？という質問については、支援員二人、補助員一人で運営している。学童の子供たちには保険がかかっているが、学校で遊んでいる子供たちも面倒みると目が届かない、ケガの時を考えると一緒に遊べる状況ではない。

市長 今年度もう一部屋作る。6つの学童は準備をしているがその中で子供たちを保育していく。今後児童数増えれば学童の部屋も必要。美南は高齢化率10%いかない地域、学童の必要性高い。待機児童出ないように配慮していきたい。

【質疑応答】

問 保険のことと指導員さんの関係で目の届く範囲、ということだが。近所の子が学校で遊べないということで我慢するしかないのか？区分けが難しいと思うが。

答 学校で遊べないわけではなく、学童の子とそうでない子が一緒に活動するのは難しい。

問 たまたま学校に遊びに行ったときに、学童のお友達と会ってしまうと、遊びたくなってしまうようだ。だから行かないというようだが、やはりその辺は難しいですか？

答 預かっている子供の安全を考えているが、一緒に遊ぶことは問題ない。
市長：学童については整理をし直そうと思っている。

問 学童の場所は足りないのは分かったが、学校の敷地外で借り上げたり買い取ったりして確保する考えは？

答 現状としては、校内に学童保育室あるがそれだけでは足りないので、道路向かい側の民地に設置している。それでも足りないようであれば、空いているテナント、民地、中曽根小など、いろいろ手立ては考えられる。

問 素晴らしい回答、ありがとうございます。

市長 後から来た人のために、これまでのまとめ。

美南小は6年後に1400人超えてマックスになり、44教室使われるが45教室用意しているので、今のまま行けば受け入れることが出来ると考える。しかしまだ86世帯マンション空いているので、計算より多くの子が入居してくればその予想も超えてくる。その緩和措置として来春の新1年から中曽根小に入学できるよう規則変更検討中。9月頃通知して2週間考えていただき判断していただきたい。情報は、PTAや通知の中に入れてお伝えしようと考えている。

校庭は2つ遊具を取ってスペース広げる。中庭の柱にスポンジ製のものを詰めて、安全性を高める。道路通学路は校門出て西側の交差点ポールを立てて車の侵入を防ぐ。地域全体ゾーン30にして事故率下げる。学童は、

できる限り待機児童出ないようにしていきたい。

【質疑応答】

問 今の話の中で、小学校を4月以降に選択できるようにする、9月に通知、2週間で回答する、PTA会報等に内容を書けると聞いたが、通知が来て知ってから回答まで2週間は短い。兄弟が美南小に通っているのに美南小のことは分かるが中曽根小のことは分からないのに、2週間の中で判断短い。PTA会報は何カ月も前から配られるのか？

例えばまだ小学生がいない家庭、小学校の雰囲気見てみたいが、学校の中に入るのはセキュリティ上難しいと思う。学校開放などで判断材料つけられるなら選択としてありだが、美南小多いので中曽根小へどうぞ、と言われても、どういうことなんだと思ってしまう。

答 前回はそうだったが、すでに中曽根小を選べるようにすると明言しているので、ここから考えがスタートしている。どんどん広めてもらっていい。今から考えが進んでいく。判断材料は学校開放日、運動会開催日、児童数などをどんどんお伝えしていく。9月までに多くの情報が行くようにする、そこで判断していただきたい。

部長 7月頃からきちんとした広報ができるが、自治会に入っていないので広報誌を見ない人も多いと聞いている。保育園、幼稚園を通じて該当の方たちに情報が行くような形を取らせていただきたい。美南小、中曽根小にお願いして一定期間学校開放期間を設けようと思っている。事前申し込み等はこれから学校と検討だが、こちらから学校にお願いしていきたい。

問 自分は今回初めてここに来て知ったが、判らない人の方が多い。開放日通知しますと書いて、HP、掲示板に載せても、載っているという情報を知ることができないので、保育園や幼稚園に通知していただきたい。

答 PTAからも伝えていきたい。話を広めてほしい。私たちが拡散していきたい。

問 判断材料で学力の差はどうでしょうか 中曽根と美南の学力の差は？ふつうは学力テストの結果の良い方に行きたがると思う。

答 今週末、中曽根小と美南小両方運動会実施する。先日美南小を訪問して校長にキャラバンのことを話した。美南小の良さはダイナミックさだと言っていた。学力は、上なのか下なのかについては情報ないが、学校を見て思うのは先生が一生けん命授業をしている。ここを見ると大きな差は見られない。学力テストの「結果」が良いからその学校が良い、とは言えない。学力を伸ばすのは家庭の協力が必要。

市長 学力テスト結果は公表していない。学年によっては波があるし噂が出るが、理解をしていただきたい。
それ以外のデータはしっかりと伝えていきたい。

教育総務課 吉川中学校の建設について

来年4月開校目指している。進捗率は40%建築工事完了している。4階の床の立ち上がりまで見えると思う。校舎の特徴は2階部分に武道場、屋上に2.5mプール設置。7月から外構工事。進捗状況は吉川中HPのぞいてほしい。

市長 新中学校で大事なことは学区の線引き 2年前にも意見いただいて決めた、もう一度振り返ってみる。
学区審議会では線引きを決定していく。2年前に線引き決めた。正規の学区を決めたが弾力的運用地域の子供も受け入れることで決着した。今の住基データでは令和8年ごろには満帆になるので、その2~3年前から学区変更について学区審議会開始し、弾力的地域を直していくことになる。現状はこれでご理解を。

【質疑応答】

問 家は赤いところ(弾力的地域)に該当している。距離からするとすごく近い、赤ゾーン(弾力的)の南にある。建築予定の中学校がある学区だと聞いたので、不動産屋と市にだまされた感じがある。建て始める前から8年で満帆になることに気づいていたのでは?そもそも、もっと大きい建物を建てるべきなのでは。わざわざ厳しいのが分かっている状況で、一杯になる中学校を

建てたのか。

答 市として、駅南側すべてが通えると言ったことは一切ない。不動産業者が新小中学校ができるというプレゼンをしたのだと思う。なぜ駅南側全部のお子さんが行けないのかというと、南中の子供たちが吉川中に異動すると、南中学校の教室が余る。新中学校を大きくして駅南側の全部を受け入れればいいという考えはしない。適正な大きさを作る。それぞれの学校が適正な数で授業ができるのが市政の基本。たまたま線路があるから線引きに見えるが、なければどこかで線引きが必要となる。南中の教室が余るのが分かっている吉川中学校だけを大きくすることはできない。10年経てば美南地区の子供も減っていく。ご理解を。

問 それであれば、土地の位置をもっと考えた方がよかったのでは。その区切り方をするのであれば、もっと南側にするべきだったのでは。

答 30年近く前に、この地区の人口が増えた場合にこの場所に学校を建設するために抑えていた。その時点では予測は難しかったということをご理解いただきたい。

問 新中学校教室数は

答 普通教室27、特別教室2

問 令和8年から28になる？プレハブを作って対応するなどしないのか？

答 近年はプレハブとは言えないくらい立派、1棟の金額は億単位。南中の教室が余っているのに、吉川中にそういった建物を建てるのかといわれたら、それは建てない。最も三郷寄りに住んでいる子供も、現在南中に通学しているので、通えない距離ではない。弾力的地域の子たちは線路があるので遠くに感じるかもしれないが、東中などを見ればもっと遠くから通っている子もいるので理解を。

問 予算バランス考えて、新プレハブ建設はないということか

答 新中学校43億、土地20億、それを作ってさらに弾力的の子たちを受け入

れるだけのために新しい校舎を建てても、いずれはその校舎が10年立たないでつぶさなければならない、費用対効果を考えると、南中に通学してほしい。学区審議会で判断したこと、一番効率がいいと判断したこと。

問 自治会は育まち自治会だが、自治会の中で分断されてしまう。自治会で子供のイベントがあるが、自治会レベルで別れる。

答 育まち分断している？

問 1丁目と2丁目にまたがって育まち自治会である。

答 宿題にさせてほしい。把握していなかったこと申し訳なかった。自治会で学区を分けないことは私のセオリー。令和8年の学区審議会の時に必ず自治会のこと議題にする。